

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年10月28日

## 【評価実施概要】

事業所番号	鹿児島県指定 第4670105115号		
法人名	有限会社 鹿児島メディカル		
事業所名	グループホーム あらた		
所在地	鹿児島市 荒田1丁目 51番14号 (電話) 099-252-2561		
評価機関名	NPO法人 自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構		
所在地	鹿児島市星ヶ峯4-2-6		
訪問調査日	平成21年10月6日	評価確定日	平成21年11月7日

## 【情報提供票より】 (H21年9月10日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	18年	4月	1日			
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18	人			
職員数	19人	常勤	14人	非常勤	5人	常勤換算	17人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート	造り
	4階建て	2~3階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000	円	その他の経費(日額)	600円
敷金	有( )	円	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )	円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000	円

## (4) 利用者の概要(9月10日現在)

利用者人数	18名	男性	0名	女性	18名	
要介護1	7名	要介護2	5名			
要介護3	6名	要介護4	0名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	86.6歳	最低	77歳	最高	94歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	たちばな循環器科いよいよま病院、 小田代病院、 村岡歯科
---------	------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは市の中心部に位置し、近くに交番や公園・小学校などがあり利便性に富んだ環境にある。母体医療機関が近くにあり、医療面での協力体制ができています。地域貢献という公益性の視点も含めAEDが設置されている。入居者は「昔とった杵柄」で個々の力を発揮しながら、いきいきとした生活をしている。職員は「入居者の方がのびのびと自分らしく生活して下さる事が私たちの喜び」と、日々、尊厳の保持を大切にされたケアにあたっている。ケア指導者が配置され、入居者への支援や職員の働きやすい環境づくりを目指し対応している。地区の独居生活の高齢者をどう支えるか、行政や地域とも協力しホームとしてできる支援策にも取り組んでいる。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での改善課題はなし。 今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 管理者は評価の意義を職員に伝え、1ヶ月かけてユニット毎に、1項目ずつ評価を行った。その結果、日々のケアを振り返り、ケアの質の向上につながった。
	②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6) 会議は2ヶ月に1回開催し、入居者の状況や活動内容・行事報告・研修報告等を行っている。民生委員・地域包括支援センター・交番の職員も出席しており、地区の独居生活の高齢者をどう支えるか、ホームとしてできる支援策を協議し取り組んでいる。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 面会時や家族会・運営推進会議の中で、家族に意見や要望をだしてもらえよう働きかけている。要望に対しては、チェック表を作成し管理する等、出された意見に対しては即座に対策を話し合い、家族に報告し、前向きに取り組んでいる。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入し、毎月地域清掃や小学校の運動会等に参加している。ホームでの敬老会には近所の子供達が歌などを披露して、入居者に喜ばれている。地域の方も気軽に面会に訪れ交流が見られる。避難訓練時も交番や地域住民の協力をもらうなど連携が取れている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者が人生の大先輩である事を忘れず、家族や地域のつながりを大切に、入居者の能力を発揮できる環境作り、尊厳ある暮らしを支援するという理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員は申し送りやミーティングの中で、理念を提唱しながら日々のケアを振り返る契機とし、理念の実践に向けた取り組みを行っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、毎月地域清掃や小学校等の運動会へ参加している。ホームでの敬老会には近所の子供達が歌などを披露したり、地域の人々も気軽に面会に訪れたりして交流がみられる。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は評価の意義を職員に伝え、1ヶ月かけてユニット毎に、1項目ずつ評価を行った。その結果、日々のケアの質向上につながった。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとに会議を開催し、入居者の状況や活動内容・行事報告・研修報告等を行っている。民生委員・地域包括支援センター・交番の職員も出席し、地区の独居生活の高齢者をどう支えるかの支援策を協議し取り組んでいる。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは入居者の状況について、情報交換や相談を行い連携を図っている。市の介護相談員も受け入れている。運営推進会議には地域包括支援センターの職員の参加もあり、入居者及び地域の独居高齢者支援について一緒に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の面会時に入居者の暮らしぶりを報告している。毎月、個々の健康管理記録・食事量・バイタルチェック表を家族に提示しサインをもらい家族も喜んでいる。金銭管理報告も毎月行っている。ホーム便りは年4回発行している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や家族会・運営推進会議の中で、家族に意見や要望を出してもらえるよう働きかけている。要望に対してチェック表を作成し、出された意見に対しては対策を話し合い家族へ報告する等、前向きに取り組んでいる。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係を重視したケアを行っている。やむを得ず異動があった場合は、入居者や家族に紹介して、信頼関係が築けるよう配慮している。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は交代で参加し、伝達講習を行っている。内部研修は年に3～4回実施し新入職者のフォローアップ研修も行っている。毎月1回消防署が主催する救命救急講習会に職員が交代で参加したり、ホーム内にAEDを設置し講習会を行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム連絡協議会に加入し、研修会での交流を通し意見交換を行ったり、見学交流の機会を作っている。県主催のグループホーム実践研修生の受け入れを行い、サービスの質向上の取り組みを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者には来所してもらい、ホームの見学をしたり、お茶や食事を入居者と一緒に食べながら、少しでも場の雰囲気に馴染み、安心して入居できるように取り組んでいる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は”入居者は人生の先輩である”という考えを共有しており、食事作りの場面では入居者からの助言や昔の大切なマナーを教えてもらったりして、日常の中で一緒に過ごし支え合う関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族からの情報や、日々の生活の中での表情や言動から気持ちを察したり、職員間で情報交換をしながら、本人の思いや意向を把握し、本人本位の支援を行っている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の意見や要望を聞いたり、主治医の意見、職員の気づきや意見を取り入れ、個別に応じた具体的な介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居時は1ヶ月毎に評価修正をし、3ヶ月・6ヶ月と見直しを行っている。毎日チェック表に記入し評価を行い、状態変化時は随時見直しを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族と話し合いながら、本人の意向に沿った通院支援・希望者にはマッサージ・訪問歯科・外食・葬儀出席等、柔軟に支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者及び家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。また適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に本人家族に説明し「重度化した場合の対応に関する指針」や同意書があり、同意を得ている。職員も方針の共有化ができています。医療機関との連携体制がある。看取りの経験が2件あり、その家族も満足している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者は個人情報の保護に関する説明を行い、入職時に誓約書をとっている。日々のケアの中で自尊心を大切にされた声かけや対応の仕方を職員に指導したり、マニュアルも作成し勉強会も行っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の生活の流れはあるが、入居者の状態やその時々で本人の希望やペースに合わせ、自由な暮らしができるよう柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の嗜好を聞きながら、入居者個々のレベルに合わせて、野菜の下ごしらえ・食事の盛り付け・配膳・下膳など、できる事を一緒に行いながら、食事を楽しめるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めているが、希望者は毎日でも入浴できる。本人のペースに合わせて、午前・午後と柔軟に支援を行い、夏場は毎日シャワー浴も行っている。入浴したくない方には工夫して手浴・足浴・部分清拭を行っている。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の得意分野の家事・梅干し・らっきょう漬け・誕生会の寿司づくり・編み物・運営推進会議への参加など達成感を味わうことができるような支援や散歩・体操・新聞やテレビ観賞等、気晴らしの支援もしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気のよい日は近くの公園に散歩に出かけてハトに餌をやったり、パン屋やスーパーに買い物に出かけている。花見・ソーメン流し・外食の機会も設けながら外出の支援を行っている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の見守りと気配りで、日中は玄関の鍵をかけずに、自由な暮らしを支援している。安全面での対策は近くの交番の協力をもらいながら進めている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、夜間想定を含めた定期的な避難訓練を行い、地域の消防分遣隊・警察署・地域住民も参加し実施している。自主訓練も行っている。災害時の備蓄は用意している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量は毎日健康管理表に記入している。食事の摂取状況や嚥下状態に合わせ食事形態の工夫も行っている。月1回体重測定を行い、栄養士にアドバイスをもらいながら、栄養バランスに配慮している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の花や絵が飾られ、共有空間にはタタミスペースがあり、リビングにはソファが置かれ、大スクリーンのテレビも設置されている。室内やベランダの花も季節感をかもしだし、ゆっくりくつろげるよう配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはテレビ・仏壇・テーブル・椅子・写真・観葉植物・カレンダー等の馴染みの物が持ち込まれ、本人が安心して居心地よく過ごせるよう工夫している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。